



おくやま けんぞう
奥山 謙三 議員

全国学力テストの結果と課題は 支援の充実を図り学力向上に努める



タブレットを活用した授業

【質問】 町では、「協働的な学び」を通じて「主体的・対話的で深い学び」を目指し、児童・生徒の確かな学力を育成するため、人的支援等の充実を図り学力向上に努めています。全国学力テストの結果と課題、そして今後の取組みについて質問します。

【教育長】 今年度の学力調査の結果は、小学校の方面は、国語、算数ともに全国・県平均を上回る結果でした。中学校の方は、国語、数学ともに全国・県平均を下回る結果でした。町で行っている学力向上に係る取組みとして、小・中学校への人的支援として、特別支援教育支援員、教員業務支援員、地域学校協働活動推進員、ALT、ICT支援員、スクールカウンセラーを配置しています。更に、

【質問】 関係人口とは、移住や観光、帰省でなく、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域や課題の解決に関わる人のことです。関係人口拡大を図りながら、地元に関心を持っていただき、定住人口増加につなげられるよう地域全体で進めることが大切だと思います。町の取組みについてお聞きします。

【関係人口拡大への取組は情報発信を強化し拡大に努める】

【町長】 関係人口の拡大は、いかに舟形町のファンを増やせるかといった事だろうと思います。そのためには当町の取組みに共感していただくことが重要であり、その取組みの情報発信を行っていく必要があります。今後



都市と農村交流事業（港区東麻布）



いしやま かずはる
石山 和春 議員

総合発展計画の現状は

全般的なおおむね達成

【質問】 短期アクションプランは、令和7年3月31日が期限になっています。必要に応じ具体的施策の見直し等も行ってきたものと認識しております。

【町長】 今年度も委員により検証されたものと思いますが、どのような意見が出されたのでしょうか。短期アクションプラン5年間の検証結果が重要です。4月1日からの後期の進め方はどのようなスケジュールになっていますか。

町内4地区に地区びじょんがあり、ワークショップ等で出された意見をもとにできています。検証されているのであれば、どのような意見が出されたのか伺います。

総合発展計画策定時から地域運営組織の設立がいわれてきたが4地区すべてに設立されたのか伺います。

後期短期アクションプランの進め方については、基本施策に基づく具体的施策や課題、展開方針、主な事業など、検証を行ないながら進めてまいります。最終年度となる令和11年度には、後期短期

アクションプランの検証により第7次舟形町総合発展計画の総括となる予定です。

地区びじょんは、地域運営組織や地区連合町内会が主体となつて行うものであるため町による検証は行っておりません。

3つの地域運営組織と舟形地区連合町内会では、自分たちで検証と改訂を行うということを



前期を終え後期に向かう
第7次舟形町総合発展計画